

日本共産党 和歌山市公議員

ひめた高宏ニッス

No. 1110
16.7.12

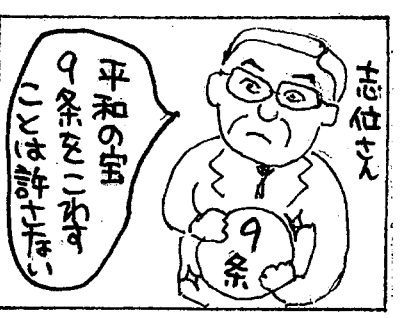
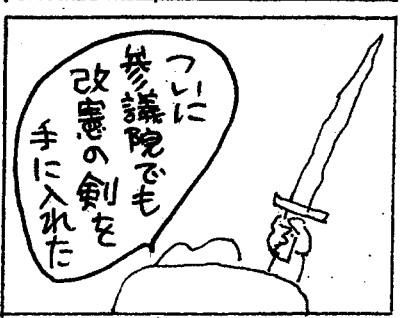
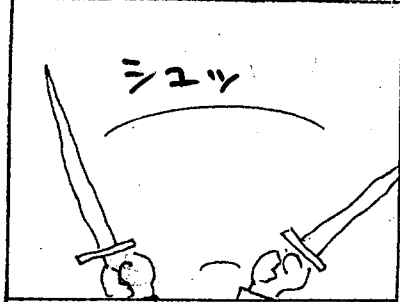
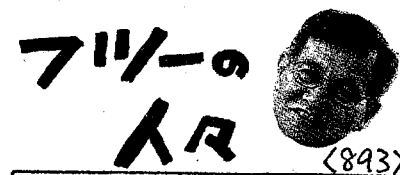
参議院選挙で3倍も議席倍増

参院選(16.7.10投票) 和歌山市の投票

| | |
|-------|----------------------------|
| 選挙区 | 有効投票 150,594 無効投票 7,803 |
| ふるほ健介 | 99,100 (65.8%) |
| ゆら登信 | 43,706 (29.0%) |
| 西本あし | 7,788 (5.2%) |
| 比例区 | 有効投票 151,591 無効投票 6,769 |

| | |
|--------------|----------------|
| 自由民権 | 49,607 (32.8%) |
| 心明党 | 30,776 (20.3%) |
| おおさか 維新の会 | 23,366 (15.4%) |
| 民進党 | 20,931 (13.8%) |
| 日本共産 | 16,956 (11.2%) |
| 支持政友 | 1,945 (1.3%) |
| 社会民主 | 1,842 (1.2%) |
| のほんこ をた印は | 1,714 (1.2%) |
| 生活の党 | 1,694 (1.1%) |
| 幸福実現 | 1,268 (0.8%) |
| 新党改革 | 812 (0.5%) |
| 国民の 声 | 680 (0.4%) |

参議院選挙が終わりまし
た。日本共産党は、比例区



で60一万票、5議席を獲得し、東京選挙区の一議席を合わせ、改選3議席から6議席へ倍増しました。また全国32の一人区すべてで野党統一候補を実現し、この選挙区で自民候補に勝利するなど、きめりて重要な成果を得ることができました。

物に西面でも協力いただいたすべてのみなさんに、おれを甲し上げます。ありがとうございます。

6月定例会議会で可決した議員提案のうち「次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書」の全文は次のとおりです。

平成27年6月30日に閣議決定された「骨太の方針」の中で、次期介護保険制度改正に向けて、軽度者に対する福祉用具貸与等の給付の範囲を拡大するなどが盛り込まれた。現行の介護保険制度における福祉用具は住宅改修のサービスは、高齢者自身の自立を促すための介護者の負担軽減を図るという極めて重要な役割を果

6月定例会議会報告



たっている。

例えば、手すりや歩行器などの軽度者向け福祉用具は、転倒・骨折予防や自立

した生活の環境を確保し、車椅子や歩行器などの必要に応じて、また、安全な外出機会を確保するに

とによって、特にひとり暮らしの高齢者のようにせ

とにしています。ちほみに共産党は7.2%。

これまでの自民党政治で邦険に扱われてきた結果、憲法の本来の良さが国民、特に若い世代に伝わっていないのではな

かと思えます。これから始まる憲法論議、自民党の時代錯誤な改憲草案の中身としても、憲法本来の良さを9条の大切さを若い世代に広く伝えるために、何ができるのかを考えなければなりません。

今週のフリー人々

(その56)

若い世代に憲法9条を参議院選挙で自民、公明、維新などの改憲勢力が3分の2を占めました。

選挙後、テレビのワイドショーで有権者の多くが3分の2の意味を知らないと答えているという紹介、テレビの役割がどうだったのかと自問している場面が印象的でした。

また共同通信の出口調査によると今回、新たに有権者となった18、19歳の40%が自民党に投票した



りやびび、社会生活の維持にいたがっている。

仮に、軽度者に対する福祉用具、住宅改修の利用が原則自己負担にならば、特に、低所得者世帯等弱者の切り捨てになりかねず、また、福祉用具、住宅改修の利用が抑制され重度化が進展した場合、結果として、介護保険給付の適正化という目的に反して高齢者の自立的な生活を阻害し、さら

夢が増大するおそれがある。よって、国に於いては、次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しは、高齢者の自立を支援し介護の重

度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って介護が必

日本共産党

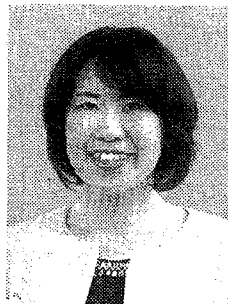


市民の共闘をすすめる

支援、本当にありがとつていきました。昨年の夏から予定候補者として全県を駆け巡り、「安保法制」「戦争法廃止、安倍政権打倒するため」に野

党共闘を勝ち取る「この使命に全力を挙げたが、てきました。野党統一候補が全国32の1人区すべてで実現し、この和歌山でもやら

しかし、改憲勢力が自分のことを占めるなか、さらに気を引き締めなければなりません。市民と野党の共闘をさらに発展させて、平和憲法を守りぬ



坂口美子

自治体学校 in 神戸

2016年 7月30日(土) ~ 8月1日(月)

- 7月30日 全体会 記念講演
日本理人口減少社会と地域の再生
加茂利男 大阪市立大学名誉教授
- 31日 分科会、11ヶ所企画、交流会
- 8月1日 全体会 特別講演
自然災害からの復興と地域連携
西塚喜久夫 愛知大学教授

10時~18時

神戸駅前センター1号

参加費 1,000円

潮流

16.7.12 神戸新聞 朝刊 10頁
神戸新聞 朝刊 10頁

共闘の先陣に立った日本共産党も改選候補者には増え、比

勝利。前回はその力が取れなかつたのですから、効果のほどがわかりません。東北では被災3県をはじめ野党共闘が圧倒。沖縄でも現職の大田に圧勝しました。及

勝利。前回はその力が取れなかつたのですから、効果のほどがわかりません。東北では被災3県をはじめ野党共闘が圧倒。沖縄でも現職の大田に圧勝しました。及

赤旗 日刊紙 3497号